

安野発電所への中国人強制連行

邵義誠さんの遺族・邵莉娜さん夫妻を迎えて 和解を導いた力 Part 6

控訴審勝訴判決と新美隆弁護士

日 時：2026年10月17日(土)14:00～16:30

*13:00～ パネル展「安野発電所への中国人強制連行」

会 場：広島弁護士会館 3階ホール（広島市中区上八丁堀 2-73）

資料代：1000円

主 催：広島安野・中国人被害者を追悼し歴史事実を継承する会



新美隆弁護士
(2002年10月、山東省青島市)

アジア・太平洋戦争の末期、労働力不足を補うために、東条英機内閣が閣議決定して、中国から約4万人の中国人を強制連行し、全国135か所の事業場で重労働に従事させました。その結果、約7000人が日本で命を落としました。生き残った中国人は、日本敗戦後、何の補償も受けることなく集団で帰国しました。広島では、西松組（現在の西松建設）が360人を安野発電所の建設工事に従事させ、29人が死亡し（うち5人は原爆死）、331人が帰国しました。

安野へ強制連行された中国人のその後の消息は長く明らかになっていませんでしたが、1992年から広島市民と河北大学による日中共同調査が始まりました。中国人被害者たちは93年、西松建設に対して三項目要求（公式謝罪、追悼碑と記念館建設、しかるべき賠償）を提出して補償交渉を開始しました。しかし西松建設が責任を認めなかったため、5人が原告となって西松建設を広島地裁に提訴しました。

控訴審からは新美隆弁護士を団長とする新たな弁護団が編成され2004年、広島高裁で勝訴判決を勝ち取りました。最高裁では不当判決により敗訴しましたが、最高裁は異例の付言をつけて西松建設を含む関係者に自発的な解決を求めました。

高裁勝訴判決が最高裁の異例の付言を導き出し、最高裁判決から2年後に、付言が和解へとつながりました。

新美弁護士は高裁勝訴判決のあと闘病生活に入られ、2006年12月、最高裁判決を気にかけてながら逝去されました。

本集会では、控訴審の審理の中で新美弁護士が果たした役割、仕事をふり返るとともに、それが西松建設との和解へとつながっていった経緯をあらためて確認したいと思います。

また、原告として裁判を闘い、西松安野友好基金の運営委員として和解事業を推進した邵義誠さんの遺族・邵莉娜（長女）とその夫・張振侖さんをお迎えして、お二人のお話を聞きます。

映像や証言、講演を交えながら、新美弁護士と邵義誠さんの活動をさまざまな角度からふり返りたいと思います。
会場ではパネル展も行ないます。ふるってご参加ください。

<プログラム>

第1部 遺族・邵莉娜さん夫妻を迎えて

- 映像で見る邵義誠さんの闘い
- 遺族が語る邵義誠さん

第2部 控訴審勝訴判決と新美隆弁護士

- 講演 足立修一弁護士
「控訴審勝訴判決を導いた新美隆弁護士」
- 新美隆弁護士 長崎講演の記録映像より
「花岡和解と西松控訴審判決への歩み」

邵義誠さんの遺族・邵莉娜さん夫妻を迎えて



西松建設を提訴。弁護団・支援者とともに
広島地裁へ向かう邵義誠さん（前列中央、1998年1月）



53年ぶりに安野発電所を再訪
日本で死亡した仲間を追悼する
（1998年1月、光石掘出し口）



広島高裁判決。亡くなった原告の遺影を胸に入廷する
前列左から2人目は邵義誠さん
右端は新美隆弁護士（2004年7月）



和解成立から1年、「安野 中国人受難之碑」除幕式
西松建設代理人弁護士と笑顔で握手する（2010年10月）



2013年2月の春節、自宅でくつろぐ邵義誠さん一家。

邵義誠さん夫妻（前列）、長女・邵莉娜さんと夫の張振侖さん。

邵義誠さんは2018年6月死去。享年92歳。

長女・邵莉娜さんは、初来日です。

夫の張振侖さんは、邵義誠さんが西松建設に対して謝罪と補償を求めた闘いを支え続けました。和解成立後は、調査員として生存者・遺族を探し出す調査を行ない、邵義誠さんが十分に活動できなくなってからは基金運営委員代理として和解事業に取り組みました。来日は8回目。

10月18日(日) 遺族・邵莉娜さん夫妻とともに追悼のときを

- ① 11:00～12:30 坪野フィールドワーク 安野発電所前集合（安芸太田町坪野）
- ② 13:30～14:30 第19回中国人受難者を追悼し平和と友好を祈念する集い
会場：「安野中国人受難之碑」前
- ③ 14:50～15:30 善福寺で追悼法要

<①②③いずれも申込み不要、参加費無料です>

* 広島市内から現地へマイクロバスを運行します
定員20人、バス代1500円。申し込みは下記まで

【連絡先】 広島安野・中国人被害者を追悼し歴史事実を継承する会

《電話》 080-3880-8340 《Eメール》 ykkwhr@pony.ocn.ne.jp 《ホームページ》 <https://keishousurukai.com>